

効率的な農業経営の実現

あかお さいじょうし
明穂地区(愛媛県 西条市)

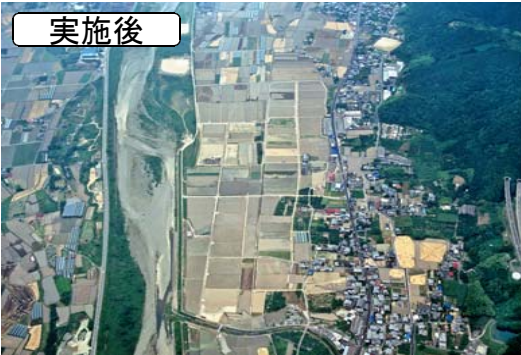


事業の概要	
事業名	経営体育成基盤整備事業
受益面積	21.3ha
事業内容	区画整理 21.3ha 暗渠排水 11.6ha
工期(ハード事業)	H15~H19
工期(ソフト事業)	H20~H21
ハード事業費	393百万円
ソフト事業費	16百万円
関係土地改良区	明穂、大頭土地改良区

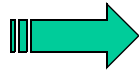
本地区は、1農家当たりの水田の経営規模(面積)が小さく、区画が狭小で道水路の整備が行われていないことから、作業効率が悪く、農地の流動化等の大きな阻害要因となっていた。このため、農地の汎用化や大型機械の導入による生産性の向上と併せ担い手への農地の利用集積・育成を目的とし、平成15年度からほ場整備に着手し、平成19年度に完了したものである。また、担い手への農地集積を促進するため、用水路はパイプライン方式を採用するとともに、畦畔法面の維持管理労力を軽減するためグランドカバープランツを実施している。農地の利用集積は、賃借権の設定及び農作業の受託が進み、担い手への利用集積率は平成20年度において37.6%まで上昇し、農業経営の合理化が図られている。



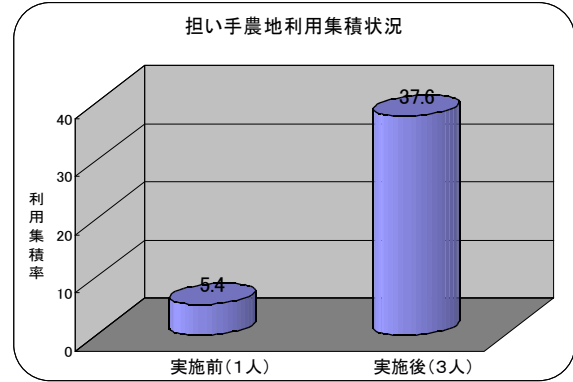
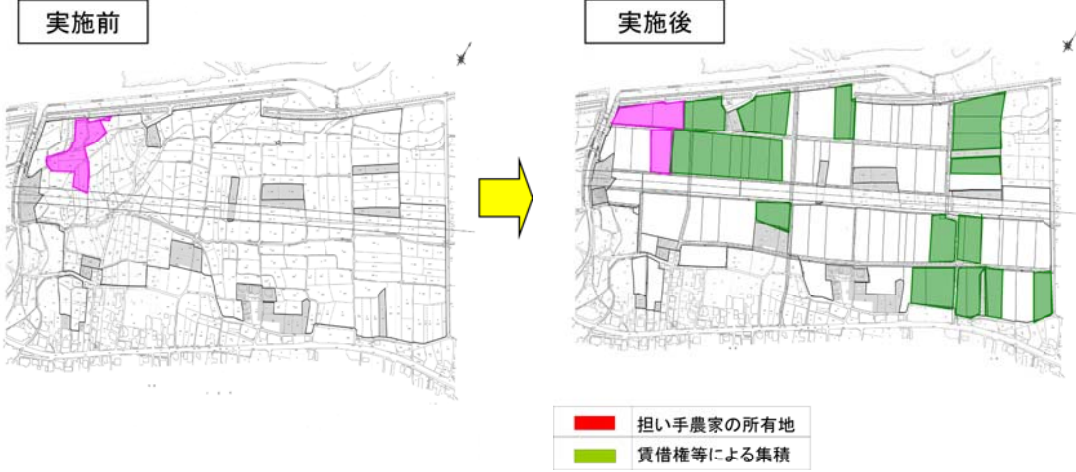
ほ場整備実施後は、米を基幹作物とし、麦や大豆、施設野菜(アスパラ、キュウリ)を組み合わせた作付けを予定している。



着工前標準区画面積 8a
↓
実施後 " 30a



○ 農地利用集積状況



()は担い手農家の数
※実施後の担い手
担い手農家 2名
農業生産法人1組織

○ 自動給水栓による水管理の省力化



○ 畦畔植生による維持管理労力の軽減

